OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	Gallia　58号　報告
Author(s)	
Citation	Gallia. 2019, 58, p. 118-119
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/72874
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

報　　告

講義題目（2018 年度）

和田　章男　教　授（講）プルーストにおける音楽受容と小説創造　（共通）
（講）名作でたどるフランス文学の歴史（山上教授と共同、学部）
（演）ヴィクトル・ユゴー『レ・ミゼラブル』を読む　（学部・修士）
（演）プルースト『囚われの女』、『消え去ったアルベルチーヌ』研究　（大学院）

山上　浩嗣　教　授（演）パスカル『パンセ』を読む　（学部・修士）
（講）ディドロ『サロン』を読む　（共通）
（演）モンテーニュ『エセー』を読む　（大学院）

Éric Avocat 特任准教授（演）L'histoire de France, en bande dessinée et en films　（学部・修士）
（演）Exercices pratiques de langue française　（学部・修士）
（講）Initiation à la lecture des textes littéraires et à l'écriture académique　（大学院）
（演）Les moralistes française, expression littéraire de la culture classique（17^{e}-18^{e} siècles）　（大学院）

林　　千宏　准教授（講）フランス・ルネサンス詩研究―恋愛抒情詩を中心に―　（1 学期）（共通）

岩根　　久　教　授（講）フランス・ルネサンスにおける詩の様態―プレイアード派を中心に―　（2 学期）（共通）

卒業論文（2017 年度）

『雄鶏とアルルカン』におけるジャン・コクトーの美学―公衆と音楽―
上　妻　志　的

『赤と黒』の女性たち―レナ―ル夫人とマチルド―
馮　　雪　穎

モーパッサン『ベラミ』における「怒り」
平　島　沙紀子

修士論文（2017 年度）

François Villon et les écrivains de la bohème : Gautier, Murger, Carco

竹　鼻　智　子

La climatothérapie dans *À la recherche du temps perdu*

宮　田　駿　介

日本フランス語フランス文学会研究発表

2018 年 10 月 27 日（土）・10 月 28 日（日）（全国秋季大会、於新潟大学）

・見えない網―マルロー『王道』における冒険と未帰順部族

井　上　俊　博

・見えないものを見る：モーパッサンの幻想小説
（ワークショップ企画「見えるもの，見えないもの―19 世紀幻想文学再考―」）

足　立　和　彦

・書物の問いを再び開くために：マラルメとポンジュ
（ワークショップ企画「マラルメと 20 世紀の詩人たち―没後 120 年目に振り返る―」）

太　田　晋　介

大阪大学フランス語フランス文学会研究発表

第 83 回研究会　2018 年 9 月 29 日（土）（於大阪大学文学部棟 2 階大会議室）

・『パンセ』原稿と写本および校訂について：研究の現状

山　上　浩　嗣
司会：武　田　裕　紀

・時況節の談話的機能と時制解釈―quand 節、comme 節に現れる半過去を中心に

高　橋　克　欣
司会：井　元　秀　剛

第 84 回研究会　2019 年 3 月 2 日（土）（於大阪大学文学部棟中庭会議室）

・ボードレールの散文詩『気前の良い賭博師』における抒情性

廣　田　大　地
司会：寺　本　成　彦

・ボードレール研究の可能性―テクストから世界へ

北　村　　卓
司会：岩　根　　久